

おおだて

市立総合病院・市立扇田病院

おおだて病院だよりは、
市民・患者さんへ
市立総合病院・市立扇田病院を
つなぐ広報誌です

2014.4

No.12

発行者:大館市病院事業管理者 佐々木睦男
編集:大館市立総合病院 広報委員会
住所:大館市豊町3-1(総合)
大館市比内町扇田字本道端7-1(扇田)
電話:0186-42-5370(総合) 0186-55-1255(扇田)
URL:<http://www.odate-hp.odate.akita.jp>(総合)
<http://www.oogita-hp.jp>(扇田)

3 病院だより

第12号

消化器・血液・腫瘍内科

放射線科

外来化学療法室

RX科



この春、5人の研修医が巣立ちます!

研修医が総合病院での2年間の研修を修了しました。今後はそれぞれの専門分野ごとの
ステージへ進んでいきます。研修にご協力いただいた市民の皆様、ありがとうございました!

待ちに待った春です。昨年のは花芽が少なく、寂しい思いをしましたが今年はどうでしょうか。そして「出会いは偶然、別れは必然(寺山修司)」という言葉を思い出す時期でもあります。お陰様で5人の研修医達は無事それぞれの道へと巣立って行くことになりました。これもひとえに皆様が彼等を温かく見守ってくださったからだと思っています。そしてまた新しい仲間との出会いです。それぞれ偶然出会ったことの重みをそれぞれ大事にして、今年度も「ビスタリビスタリ」(ネパール語でゆっくり、ゆっくり)と職員と共に一輪でも綺麗な花を咲かせて行きたいと考えています。

今年度は、チーム医療への更なる前進と「地域医療連携の強化」をキーワードとして取り組んでいきます。

未だ医師、看護師不足の状況は変わらず、更に2025年に向けての社会保障と税の一体改革のもとで当院にとってどのような風が吹くのか予断を許しません。「八風吹けども動ぜず(禅語)」という思いで取り組んでいきますので、よろしく願いいたします。



市立総合病院 院長
ひろし 博
おおか 岡
たて 館

4月は病院にとって新年度の始まりで、新しい体制での診療開始となります。医師は自治医大卒業の安次嶺先生に代わり、同大学卒業で大館出身の鈴木先生が着任となり、これまでと同様常勤医6人体制で診療に当たります。お世話になった先生との別れは寂しいものですが、若手の医師は年々進歩していく医学知識を吸収して技術を磨くために、色々な病院や大学で研鑽を積んでいく必要がありますので、ご理解をお願いいたします。

その他の医療職に関しても、4月の勤務異動で一部のスタッフが交代します。地域における在宅医療の充実が急務とされていますが、今年度は専従の訪問看護師を1名配置し、訪問看護部門を強化します。また、ドック部門のスタッフも強化し、二次検査までサポートする体制を構築していきます。

念願だったベレットボイラーによる外来棟の暖房も3月から運用開始となりました。今年度も地域に密着した医療を展開いたしますので、よろしく願いいたします。



市立扇田病院 院長
なおき 樹
おおもと 本直

紹介 します

麻 酔 科



麻酔科の外来では月曜から金曜の午前中に、全身麻酔を受ける予定の患者さんを診察しています。常勤の麻酔科医2名と手術室勤務の看護師1名で業務を行っております。

全身麻酔というとなんだか怖いイメージがありますが、手術を苦痛なく安全に受けていただくために必要であり、専門のトレーニングを受けた麻酔科医が全身管理を担当します。全身管理とは、血圧が高かったり低かったりしないか、全身に十分酸素が行き渡っているかどうか、暑かったり寒かったりしないかなど、患者さんの立場に立って、全身を守ることです。手術の最中は麻酔科医が最初から最後まで患者さんに付き添い、十分に注意を払って、患者さんひとりひとりに合った管理と治療を行っていきます。

また、大きな持病があったり体調がすぐれないかたは、あらかじめ各科の主治医の先生に紹介していただき、全身麻酔に必要な診察や検査を追加で行ってもらうこともあります。

患者さんが安心して手術や麻酔を受けられるよう、頑張っていきますのでよろしくお願いいたします。

(文責：麻酔科部長 高平陽子)



看護部から



平成26年2月 課題発表会

昨年4月、看護部は7名の新人看護師を迎えました。新人看護師は、看護実践能力はもちろんのこと、接遇や倫理など一社会人として必要な能力について、1年をかけて学んできました。

配属された病棟での様々な現場体験から、看護師としての基本的な能力についても徐々に高まってきています。看護部の新人教育は、「自立に向けた指導を受けながら看護が実践できること」を目標とし、専任の教育担当者を中心に計画的に行っています。

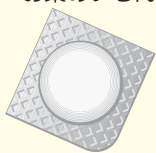
2月には、1年間の研修成果の発表を行い、「患者さん・ご家族に寄り添い、共に考える看護師になりたい」など自身が目指す看護師像を描く姿勢に成長を感じ、頼もしく思いました。

看護部では、「新人看護師の教育」看護部の「共育」と位置付け、ひとりひとりの看護師が、看護の原点に立ち返る機会としています。今後も、豊かな感性を持ちチーム医療においてリーダーシップを発揮できる看護師、安心して医療を任せられるだけの看護師を育てていきます。



平成25年8月 新人研修

お薬のいろんな疑問にお答えします。



薬のQ&A

薬の正しい飲み方は？

薬が持つ効果を安全に、そして最大限引き出すために大切なことは、用法・用量を守り正しく服用することです。今回は主な服用時間について説明します。

- 食前 : 食事をとる30分位前
- 食直前 : 食事をとる直前(5~10分以内)
- 食直後 : 食事を終えた直後(0~5分以内)
- 食後 : 食事を終えてから30分位の間
- 食間 : 食事と食事の間
(食事終えてからおよそ2時間後)
- 就寝前 : 寝るおおよそ30分位前から寝る直前
- 頓服 : 指示された症状が出たときに、または必要に応じて
- 時間毎 : 決められた時間をあけて

※上記はあくまで目安の時間です。お薬の飲み方でお困りの際はかかりつけの医師・薬剤師にご相談ください。

院内委員会活動報告

第7回

広報委員会

広報委員会では、ホームページの管理や本誌の作成など病院の広報に関する活動を行っています。2月には病院ホームページのリニューアルを行い、より見やすいデザインへ変更しました。また、広報誌については内部に広報誌編集委員会を設置し、年3回の市内全戸配布を行っています。

これからも市民の皆さんへ病院の取り組みをお知らせするため、広報活動を続けていきます。

総合病院ホームページ

<http://www.odate-hp.odate.akita.jp/>



「患者さんの声」より

当院に寄せられたご意見を、紹介していきます。



早朝の診察受付時の 駐車場利用の徹底を！

診察受付の整理券をもらうため、早朝に病院に行きますが、正面玄関付近やロータリーの周辺に車が停められているのをよく見かけます。必ず駐車場に停めさせるよう徹底してください。

(2月に投函された
かたのご意見)



病 院 か ら

ご意見ありがとうございます。

ご指摘のとおり、整理券をもらうため早朝に来院されるかたの中には病院敷地内の通路に駐車されるかたが多くいらっしゃいます。

正面玄関前は救急車の通路になっており、救急受診の患者さんの降車場所でもあります。これまでも職員が声をかけさせていただいていますが、今後はより徹底するよう努めて参ります。

玄関の傘立てを鍵付きの ものにしてください。

玄関の傘立てを鍵付きのものにしてほしいのですが。

(1月に投函された
かたのご意見)



病 院 か ら

ご意見ありがとうございます。

以前は鍵付きの傘立てを設置していましたが、鍵の紛失が相次いだことや鍵を紛失したことによる放置傘が増えたことにより、現在は使用していません。その代わりとして、傘を院内に持ち込めるよう傘用ビニール袋を設置しました。ご不便とは思いますがご理解くださるようお願いいたします。

救急搬送時に衣類を 切られてしまったのですが。

救急車で搬送された時、着ていた衣類をはさみで切り裂かれてしまいました。帰るときに着る服がないので弁償してほしいのですが。

(2月に投函された
かたのご意見)



病 院 か ら

ご意見ありがとうございます。

救急車で搬送される患者さんは、一刻を争う病气やけがの状態にあり、体を動かすことができない場合があります。その際には、速やかに治療を始めるため患者さんやご家族に声をかけてから服を切らせていただいています。救命が最優先ですので、ご理解くださるようお願いいたします。

放射線検査を受けた時、職員 の対応が親切でよかったです。

年に一度の胃の検査を受けました。設備も大変すばらしくなっていて驚きました。対応した男性の技師からは、親切で丁寧な説明を受け感激しました。今後もこのような職員が増えていってくれることを期待しています。

(昨年11月に投函された
かたのご意見)



病 院 か ら

ご意見ありがとうございます。

当院では患者サービスの向上を目指し、様々な取り組みをしています。患者さんからのこのようなご意見は、私たちスタッフの励みとなります。

今後も患者さんとの心かよう対応を目指し、努めて参ります。

あきたハートフルネットへの参加について

総合病院では、4月から「あきたハートフルネット」へ参加します。「あきたハートフルネット」は、秋田県と秋田県医師会が専用回線を用いて構築した医療連携システムです。参加する病院や診療所の間で診療情報を共有することにより、患者紹介や転院による受診の際に医療機関同士の連携がスムーズになり、患者さんへより質の高い医療を提供することができます。

あきたハートフルネット イメージ図



患者情報の登録について

ネットワークに参加している医療機関を受診している患者さんで、本人が同意した場合に登録を行います。

(患者情報の共有は専用回線で行うため、患者さんのプライバシーは保護されます)

登録は無料で、同意をいただいた場合には登録カードを配布します。

問 総合病院 医事課 ☎ 0186-42-5370

病棟変更のお知らせ

総合病院では3月より、病棟の診療科を一部変更しました。変更後の診療科は下記のとおりです。お見舞いの際にはご注意くださいませうお願いします。

変更後の病棟別診療科 (変更した病棟のみ掲載しています)

10病棟	内分泌・代謝・神経内科	泌尿器科
9病棟	消化器・血液・腫瘍内科 耳鼻咽喉科	内分泌・代謝・神経内科 感染病床
8病棟	脳神経外科	眼科 耳鼻咽喉科

扇田病院です!

放射線科



胸部CT検査



マンモグラフィ

～健診業務での役割～

健診業務では、X線撮影（胸部、胃）、マンモグラフィ、CT検査などを行っています。当院では各種専門資格を持つ（取得を目指す）技師が担当し、精度の高い検査を提供できるよう努めています。

自分自身の健康を守るため、ぜひ受けてほしいX線検査を2つ紹介します。

【マンモグラフィ】

乳房を圧迫しながら薄く広げて撮影することにより、内部をより鮮明に映し出すことができます。小さな乳がんはもちろん、しこりを作らない乳がんなどの発見も可能です。

【胸部CT検査】

X線検査では観察しにくい部位の異変や微小な肺がんの早期発見に有効です。また、肺がんのみでなくその他の呼吸器・循環器の病気や乳がんの発見につながる場合もあります。喫煙している、近親者に肺がん経験者がいる、せき・血痰の症状がある、50歳以上である、などの条件に当てはまるかたには検査をおすすめします。

どちらも検査時間は10分程度で通常の診療のほか、夕やけ診療や人間ドックのオプションでも受けることができます。早期発見、早期治療で自分の体を守りましょう!

◆各種健診(ドック等)の利用案内について

扇田病院では、地域の皆さんの健康な生活を維持・増進するため、健診事業に力を入れています。健診により健康状態を確認できるほか、健康を維持するための情報や生活上のアドバイスを受ける機会となることから、年に一度の健診(ドック等)をおすすめします。

1泊2日人間ドック

- ・実施日 毎週火～水曜日
- ・時間 9:00～翌日12:00
- ・費用 63,800円(税込)
- ・オプション検査を併せて受けることができます。
- ・大滝温泉への宿泊となり、病院からの送迎も可能です。

日帰り人間ドック

- ・実施日 毎週月・火・木・金曜日
- ・時間 8:15～12:00まで
- ・費用 38,400円(税込)
- ・半日で必要な検査をコンパクトに受けることができます。

健診コースの内容等について

- ・ドック、健診には、胃がん検診、大腸がん検診がセットになっています。
- ・胃がん検診は、「内視鏡検査」か「バリウム透視」のどちらかを選択できます。
- ・子宮がん検診は、月2回月曜日の午後が検診日となります。
- ・予約制ですので、お申し込みが必要となります。詳細についてはお問い合わせください。

外来診療のご案内

医師の都合や手術などのため、休診や受付時間を変更する場合があります。

～総合病院～

受付時間	初診 午前8:30～11:00	再来 午前7:30～11:00
-------------	------------------------	------------------------

特段の記載がない場合は、上記の受付時間になります。

科名	曜日	月	火	水	木	金	備考
呼吸器・循環器内科	新患	10:30まで	10:30まで	10:00まで	10:30まで	10:30まで	呼吸器内科の新患は月、火、金。新患は原則として紹介状が必要です。
	再来			休診			
消化器・血液・腫瘍内科							新患は原則として紹介状が必要です。
内分泌・代謝神経内科		甲状腺診療		甲状腺診療	10:00まで	10:00まで	新患は原則として紹介状が必要です。神経内科の受付は再来のみとなっています。
小児科							
神経精神科							
外科							
産婦人科							
眼科		10:00まで	9:30まで	10:00まで	9:30まで	9:30まで	新患は原則として紹介状が必要です。
耳鼻咽喉科							
整形外科				10:00まで			新患は原則として紹介状が必要です。専門外来は予約制。
泌尿器科				予約のみ			新患は原則として紹介状が必要です。
皮膚科				休診	休診		
脳神経外科	新患			10:30まで			新患は原則として紹介状が必要です。
	再来						
放射線科		予約のみ	予約のみ	予約のみ		予約のみ	新患は木のみで紹介状が必要です。
歯科口腔外科・矯正歯科							再来は予約制。

※新患はできるだけ紹介状(診療情報提供書)の持参をお願いしています。

※この表における紹介状とは、医療機関から発行される診療情報提供書のことを指します。

～扇田病院～

科名	曜日	月	火	水	木	金	備考
内科・外科	午前	8:30～11:00					4月1日より、夕やけ診療の受付時間を変更しました。詳しくは、下部をご覧ください。
	午後	急患のみ					
	夕やけ(午後)	5:00～6:30	休診	5:00～6:30	休診	5:00～6:30	
整形外科	午前	休診	休診	休診	休診	8:30～11:00	
耳鼻咽喉科	午後	休診	1:00～3:00	休診	休診	休診	
眼科				休診			

●お見舞いの際はご注意ください

入院中の患者さんは、健康なかが気になることでも体調不良を感じる場合があります。そのため、お見舞いのかたの話し声や足音なども苦痛を感じる原因となり得ます。

患者さんが安静と療養に専念できる環境を守るため、ご協力よろしくお願ひします。



●扇田病院 夕やけ診療の受付時間を変更しました

4月1日から、扇田病院では夕やけ診療の受付時間を以下のように変更しました。受診される皆さまには、たいへんご不便をおかけしますがご理解とご協力をお願いします。なお、診療日は、毎週 月曜日・水曜日・金曜日に変更はありません。(祝日・年末年始をのぞく)

(変更前) 午後5時～午後7時

(変更後) 午後5時～午後6時30分

「Future Doctor Seminar in 大館」
が開催されました



平成25年12月14日、同年10月に弘前大学と本市との協定により開設された「大館・北秋田地域医療推進学講座」の社会貢献活動の一環として、次代を担う高校生に医師の仕事を知ってもらい、医師不足の解消につなげることを目的に、「Future Doctor Seminar in 大館」が、総合病院を会場として開催されました。

セミナーには大館鳳鳴高校、大館国際情報学院、花輪高校から1、2年生54人が参加したほか、当院及び弘前大学の消化器内科や消化器外科から多数の医師・研修医に協力していただき、併せて約120名が参加しました。参加した高校生は、手術ガウン、マスク、手術手袋を着用し、実際に医療現場で使われている電気メスや自動縫合器、超音波診断装置や内視鏡カメラを使い、医師や研修医からマンツーマンで指導を受けて手術や検査の模擬体験をしました。

終了後のアンケートでは、「医療への関心が高まった」、「将来、医師を目指したい」との意見が多数寄せられました。

食事と⑥
病気予防

「ビタミンB6で免疫力アップ！」



●食事のポイント

ビタミンB6には免疫力を高める効果があります。季節の変わり目で寒暖の差も大きく、体調を崩しやすい時期でもあるため食事のちょっとした工夫で免疫力を高め、風邪などの予防に努めましょう。

- * そら豆のそぼろご飯
 - * きのこの豚肉巻焼き トマトソースがけ
 - * 筍のわさびマヨネーズ和え
 - * もずくスープ
 - * フルーツのヨーグルト和え
- | | |
|----------|---------|
| ● エネルギー | 650kcal |
| ● たんぱく質 | 30g |
| ● ビタミンB6 | 0.83mg |

●アドバイス

- ビタミンB6 (1日の摂取基準)
 - 男性: 1.4mg (上限 55mg) □ 女性: 1.1mg (上限 45mg)
- 多く含まれる食品
豚もも肉、青魚、カリフラワー、バナナ、ヨーグルト 等
- 免疫力アップに働く他の食材
里芋、人参、わかめ、しいたけ 等



編集
後記

前任の蒔苗編集委員長から引き継がせていただきました田辺壽太郎と申します。今号から編集に携わせていただき、病院だよりがたくさんの人の協力によって、大切に作られていることがよくわかりました。微力ではありますが、今後も皆様により良い情報をお届けできるよう努めて参りますのでよろしくお願いいたします。

さて、今春には5人の研修医が大館市立総合病院から旅立ちました。寂しくもあり、また嬉しくもあります。この病院で学んだことを生かし、それぞれの進路で活躍されることでしょうか。皆様にも素敵な春が訪れますようお願いを込めて、病院だより12号をお届けいたします。
(編集委員長 田辺壽太郎)